

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	下水道事業				担当課名	建設水道課
					担当係名	水道温泉経理係 下水道温泉管理係
(予算書コード)	下水道事業会計 収益／資本					
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営			
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	下水道法、下諏訪町下水道条例					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	快適で衛生的な生活環境を維持するため、下水道供用開始区域内で発生する汚水の処理及び下水道施設・管渠の維持管理と更新を行う。また、主として市街地における雨水による浸水を防ぐため雨水管渠の整備等を行う。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	%	目 標	100.0	100.0
				実 績	100.8	100.6
				達成率	100.8%	100.6%

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
事業費	事業費 A		870,837 千円			858,099 千円			827,574 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		1.00 人	2,948 千円		1.00 人	3,355 千円		1.00 人	2,529 千円	
	正規職員人件費 B		2.90 人	19,050 千円		2.90 人	19,571 千円		2.90 人	20,026 千円	
事業費合計 C (A+B)			889,887 千円			877,670 千円			847,600 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	55,500 千円			53,735 千円			千円		
		県の負担	16,480 千円			10,010 千円			2,500 千円		
		町の借入	49,400 千円			41,800 千円			73,100 千円		
		その他	626,923 千円			637,272 千円			632,600 千円		
	うち 使用料・手数料 D		462,537 千円			411,265 千円			432,332 千円		
一般財源（町の負担）		141,584 千円			134,853 千円			139,400 千円			
受益者負担率（D／C）			51.977 %			46.859 %			51.007 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	A	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 法律で義務付けられている 公共下水道の設置、維持その他の管理は市町村が行うことと定められている。汚水の処理は諏訪湖流域下水道に接続し県及び関連市町村と一体的に進めている。
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である 受益者負担金については土地面積、下水道使用料については使用水量に応じて負担を求めている。今年度は国の交付金を活用し基本料金1期分の減免を行ったため受益者負担率は大幅に低下したが、汚水処理は受益者負担、雨水処理は公費負担の原則に基づき適正に運営している。
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である 諏訪湖流域下水道に接続しており汚水処理費の負担は比較的安く抑えられている。下水道機能を維持するため、施設の点検、更新及び耐震対策を計画的に行っている。
達成度	B	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値どおりである 今後も上下水道事業経営戦略に基づき計画的な事業運営を行っていく。

総合評価	現状維持	施設の更新及び維持管理を適切に行い、今後も安定した経営を維持していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	温泉事業				担当課名	建設水道課	
					担当係名	水道温泉経理係 下水道温泉管理係	
(予算書コード)	温泉事業特別会計						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営				
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	下諏訪町温泉事業給湯条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町の活性化及び福祉の向上に寄与し、貴重な地下資源である温泉の有効利用を図るとともに、温泉供給契約者に対して安定した給湯を行う。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	目標契約件数	給湯口数	件	目 標	1,674	1,639
				実 績	1,654	1,611
				達成率	98.8%	98.3%

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
事業費	事業費 A		276,710 千円			237,979 千円			247,793 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		3.94 人	25,881 千円	3.94 人	26,589 千円	3.94 人	27,207 千円			
事業費合計 C (A+B)			302,591 千円			264,568 千円			275,000 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担			千円			千円			千円
		県の負担			千円			千円			千円
		町の借入	22,800		千円			千円			千円
		その他	272,215		千円	264,142		千円	270,814		千円
		うち 使用料・手数料 D	272,215		千円	264,142		千円	270,814		千円
	一般財源（町の負担）		7,576		千円	426		千円	4,186		千円
受益者負担率（D／C）			89.961 %			99.839 %			98.478 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	B	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 検討の余地がある
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	B	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値どおりである

総合評価	現状維持	安定的な財源確保に努めるとともに、令和3年度策定の「下諏訪町温泉事業経営戦略」を基に、効率的な修繕計画等により、引き続き健全な事業運営を行っていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	水道事業				担当課名	建設水道課	
					担当係名	水道温泉経理係 上水道管理係	
(予算書コード)	水道事業会計 収益／資本						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営				
事業の開始・終了	年 月 ～		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	水道法、下諏訪町水道事業給水条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	水道使用者に、安全な水道水を安定して供給できるよう、水源や水道施設の整備及び維持管理を計画的に行う。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	%	目 標	100	100	100
				実 績	103.4	104.4	
				達成率	103.4%	104.4%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		399,794 千円		433,199 千円		460,381 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		2.00 人	2,927 千円	3.00 人	2,975 千円	2.00 人	5,195 千円
	正規職員人件費 B		6.60 人	43,355 千円	6.60 人	44,540 千円	6.60 人	45,576 千円
事業費合計 C (A+B)			443,149 千円		477,739 千円		505,957 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担						
		県の負担	18,278 千円					
		町の借入	60,000 千円		106,000 千円		60,000 千円	
		その他	263,395 千円		263,103 千円		279,000 千円	
		うち 使用料・手数料 D	237,303 千円		223,933 千円		249,116 千円	
一般財源（町の負担）		101,476 千円		108,636 千円		166,957 千円		
受益者負担率（D／C）			53.549 %		46.874 %		49.237 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	水道法では、水道事業の経営主体は原則市町村と定められている。法改正により市町村が同意すれば市町村以外のものも経営できるとされたが、公共の福祉のための事業であるという性質上、現状では町で経営することが妥当である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	量水器の口径に応じた基本料金と、検針により確定した使用水量に応じた水量料金を利用者の負担としている。今年度は国の交付金を活用し基本料金1期分の減免を行ったため受益者負担率は大幅に低下したが、独立採算制に基づき適正に運営している。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	下諏訪町は、主に表流水を自然流下で配水しているため、効率よく給水できているが、老朽化した施設の更新が進んでいない状況であり、今後多額の投資が見込まれる。人口減少により給水収益が減少傾向になっていることから、適正な料金改定を行うとともに、現状に見合った投資の規模を検討し事業を進めていく。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	今後も目標値を下回ることのないよう、上下水道事業経営戦略に基づき、計画的な事業運営を行っていく。

総合評価	現状維持	財政状況は年々厳しくなっているが、計画的かつ健全な運営を継続するため、引き続き上下水道事業経営戦略に基づき、経営基盤の強化と財政状況の向上に取り組んでいく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	